

四国東南海・南海地震対策連絡調整会議 各専門部会での平成17年度の取組内容

◆ 情報共有部会 ◆

Webポータルサイトを共有するなどホームページの効果的な利用〔四国災害情報共有サイト(仮称)の立ち上げ〕

【現況】

- 各機関ごとに様々な情報を収集し伝達している。
- 多くの機関ではホームページにより災害情報を発信している。
- 情報は各機関のフォーマットにより整理している。

【取組み方針】

- 各機関で必要とする情報の種類を整理(被害情報、措置情報等)
- 情報共有ポータルサイトの検討

【取組みによる効果】

- 情報を必要とする機関が必要な情報を把握することが可能

情報共有のためのWebポータルサイト(イメージ)



◆ 広域連携部会 ◆

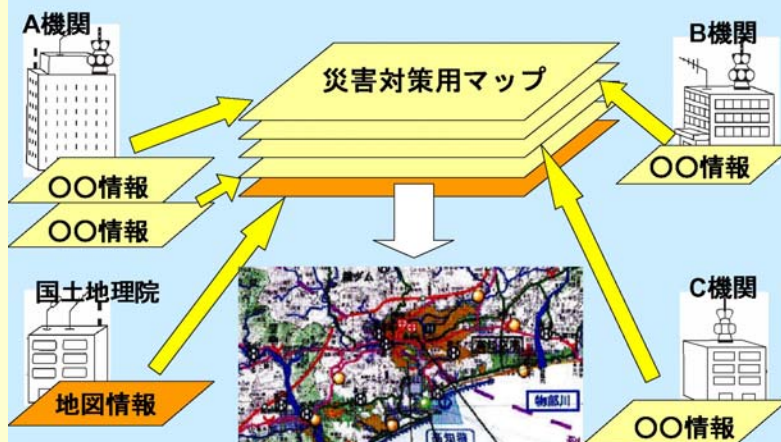
GIS災害情報データベース(仮称)の作成(電子国土webシステムを活用して)

【現況】

- 広域防災拠点、広域緊急輸送路の情報共有が望まれている。(地震発生前後とも)
- 情報は各機関で独自に管理し、独自様式で整理

【取組みによる効果】

- 各機関の情報を共通の地図上で共有(電子国土webシステム上で)



【取組み方針】

- 各機関が所有する地図情報を各機関で管理、発信
- 災害対策用マップ(仮称)を電子国土を活用し、作成
- 作成した災害対策用マップ(仮称)を利用して情報共有
- 広域防災拠点(仮称)候補地の選定や広域緊急輸送路(仮称)の抽出に活用
- ◎当面は試験運用としてCDでの配布、パスワード管理等での開始を予定